

# 「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 10 日

仕 事 の 内 容	有料広告等の拡大				
担当部署・課長名	行政管理	課	行政管理	係	課長名 木村 西

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施 策 番 号	行 - 2	-
【施策名】 効率的でスリムな行財政運営の実現	総合計画書 (ページ)	122	

予算名	款 2	総務費	項 1	総務管理費	目 7	企画費	事業 5	行政改革推進事業費
-----	-----	-----	-----	-------	-----	-----	------	-----------

1	この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 自主財源(広告等収入)	→	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 広告等収入額 (行政管理課歳入分)
		② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]確保する。	→	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 広告等収入前年比
		③ そのために何をしましたか。 ・新たな広告媒体の検討 ・既存広告の継続した取組	→	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 広告料等収入の媒体数 ・モニター(チラシ用ラックを含む) ・パネル ・庁舎案内板 ・封筒(市共通、窓口用) ・ネーミングライツ(体育施設等)

2	指標の推移		単 位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標	
		対象指標	①の数値	事業	2,516,600	2,768,520	2,782,240	/	/
		成果指標	②の数値	%	113.6	110.0	100.5	/	/
		目 標	②の目標値	%	110.0	110.0	110.0	110.0	110
			目標値設定の考え方	全年度実績以上を目標とする。					
活動指標	③の数値	媒体	5	5	5	/	/		

3	経費	事業費(実績)		円	612	115,816	120,087	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)	
		財源	一般財源		円	612	115,816		120,087
			特定財源		円	0	0		0
			(うち受益者負担)		円	0	0		0
		人件費(目安)	所要人数(再任用以外)		人	0.2	0.2		0.1
			所要人数(再任用)		人				
			職員人件費(再任用以外)		円	1,653,400	1,650,600		824,400
職員人件費(再任用)		円							
事業費+人件費		円	1,654,012	1,766,416	944,487				

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4	環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。 ホームページバナー広告(平成19年8月)モニター広告(平成21年12月)市報(平成22年11月)広告看板(平成23年2月)広告付庁舎案内板(平成24年5月)について自主財源の確保を目的に導入している。平成29年5月から広告付庁舎案内板がタッチパネル式、多言語対応(英語・中国語)となり、動画広告が増設され、広告料が増えた。
		開始当初と比較し、状況の変化はありますか。
		現在の広告媒体にも空きがあり、新たな媒体の確保は難しくなっている。

仕 事 の 内 容	有料広告等の拡大			
担当部署・課長名	行政管理	課	行政管理	係 課長名 木村 西

5 市民等 の意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について		
	特になし		

6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）		
	取り組みは無い	取組手法	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）
	(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点		

7 課 題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題(2)」の内容		
	広告看板の設置場所と大きさを変更したが、広告枚数が残っている。現在の広告媒体の維持にも留意していきたい。		
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。 ・ 広告事業開始以降、広告媒体や広告主が増えている中、より効率的及び適正な運用を図るため、平成30年9月に東大和市 広告掲載取扱要綱の一部を改正した。 ・ 広告入り封筒について導入から約10年経過したことや、事業が安定していることなどから、今後の事務の所管について変更した。		

8 今 後 の 方 向 性	(1)仕事の方向性（「7 課題(3)」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など） ・ 継続的な事業の推進体制の構築のために、例えば新たな配布物を作成する場合には広告の導入を積極的に検討するなど広告事業の積極的な取組。 ・ ネーミングライツの更新手続きを進める。		
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 ・ 新たな事業提案が促進されるよう職員への周知、意識喚起が必要である。 ・ ネーミングライツパートナーの更新意向の確認。		
	(3)改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。		

成果	成果を向上させる。	経費	仕事の経費は維持する。
----	-----------	----	-------------